

# 妖女館



# 日常

# ①



浦瀬しおじ



presented by  
浦瀬しおじ



この時期に  
このご予算では…

そこを何とか…

うーん…

# 妹女館の 出来日常

第一話



そう言われ  
ましてもねえ…

もう入学まで間がないし  
何とか住むところを  
決めないといけないんです

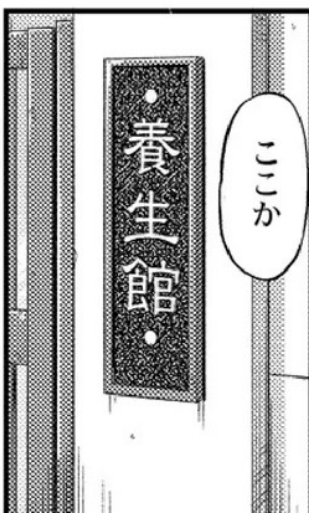


若い男の…  
か…



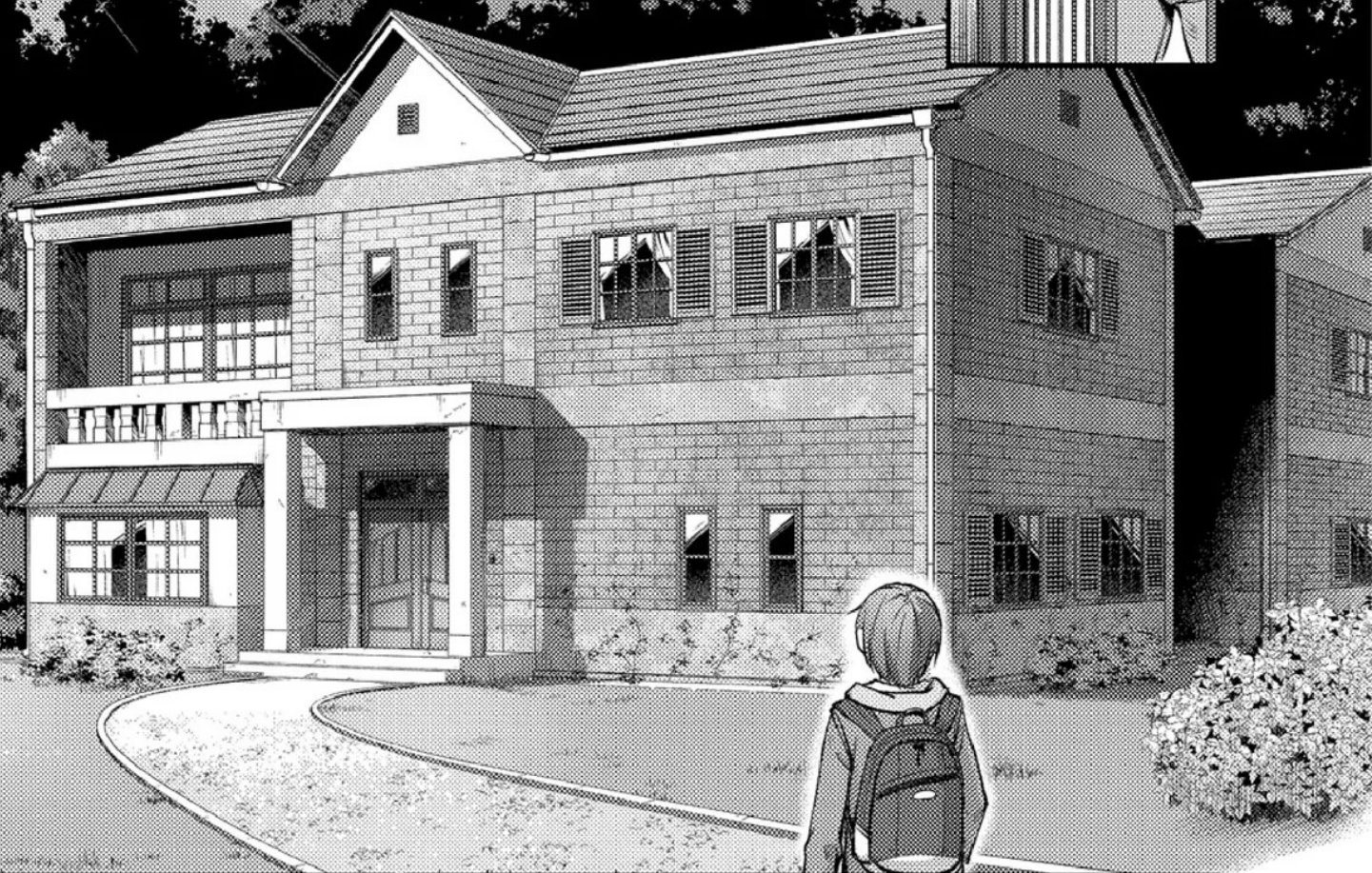
昨日ボヤ騒ぎが  
あったとかで  
入寮できなくなつて…

この春から学生寮に  
入る予定で今朝  
実家から出てきたん  
ですけど…



# ゴオオオオ...

ギ  
イ  
イ



か  
ち  
や

はい

多少の問題には  
目をつぶろう

まああの条件だし  
時間もないし...

これは...  
なかなか...

圧  
か...





どちら様  
ですか？

うわ…  
メイドさんだ！

スゴイ美人だけど  
外人さんかな…？



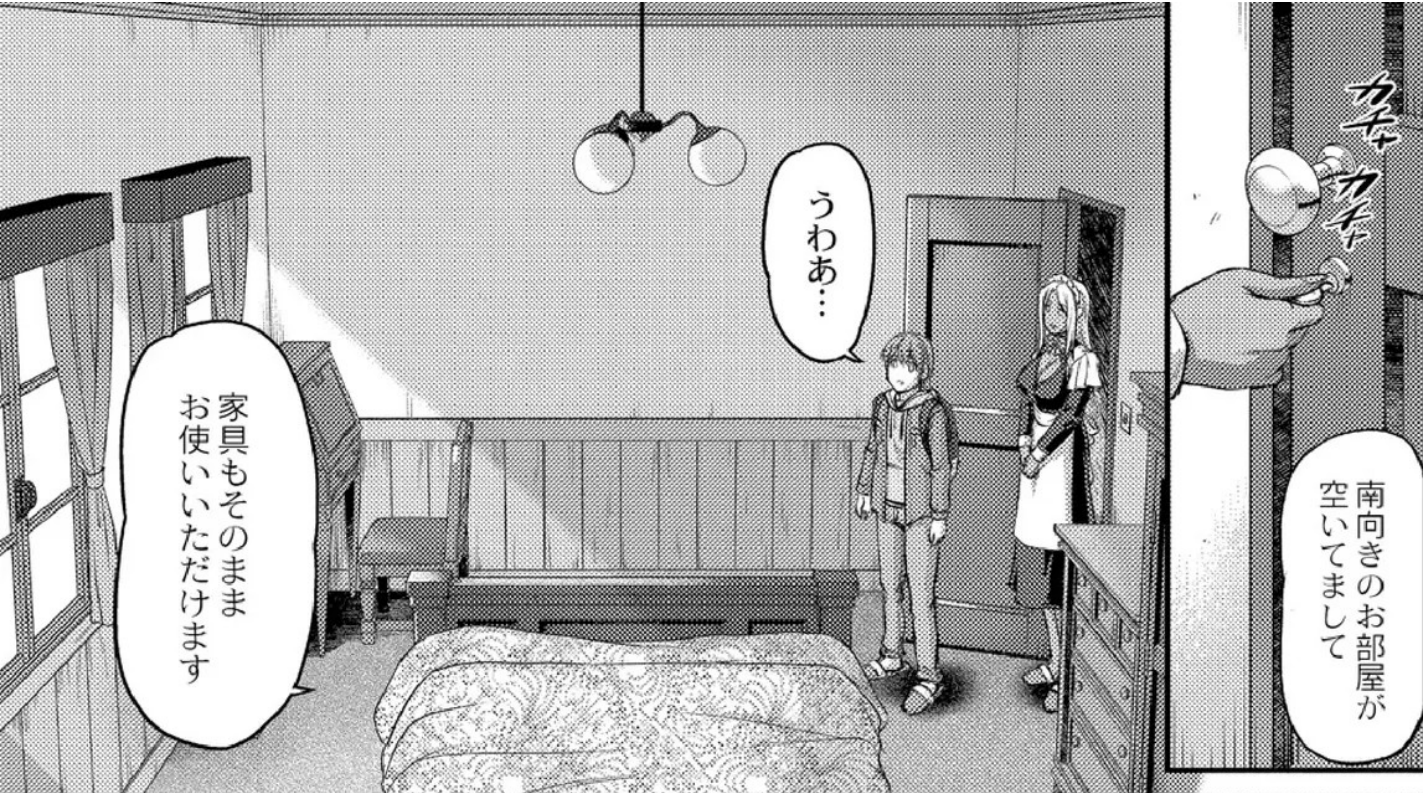
お待ちしました  
どうぞお入り下さい  
お部屋のご案内します



ああ♪  
内見をご希望の  
大月さんですね？



あのっ…  
不動産屋さんの  
大神さんの紹介で…



南向きのお部屋が  
空いてまして

うわあ…

家具もそのまま  
お使いいただけます

お家賃ですけど  
本当に…

はい  
水道光熱費と三食

あとご希望であれば  
お掃除洗濯も込みで  
3万円です

どうされますか？

………  
判りました

こちらでお世話に  
なります！

では改めまして  
自己紹介を…

私は大家兼管理人の  
小暮モリイと申します

こちらは娘の  
ライラ…

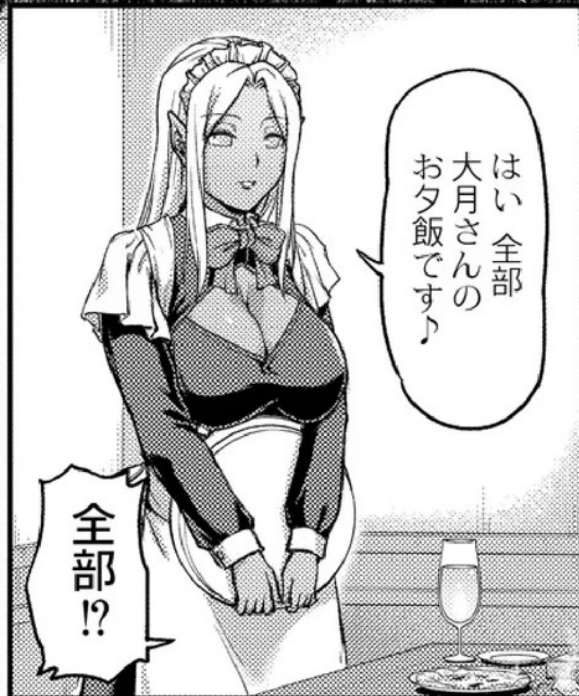
ソ

ようこそ養生館へ  
おつきよきの  
大月幸乃さん♪





そういえば他の  
住人の方は…?



はい 全部  
大月さんの  
お夕飯です♪

全部!?



すごいごちそう  
ですけど…

もしかして  
コレ



ん?

アッ



まだあるの!?

あと三…二人  
いらっしやいます  
が 今日はお仕事で遅く  
なられるそうです

あ 残りのお料理を  
お持ちしますね♪



あはい…

遠慮なく  
召し上がれ

はい  
あーん



それは何より♪

ニライニライ



ん…  
おいしい！

ハク



一人で食べられ…



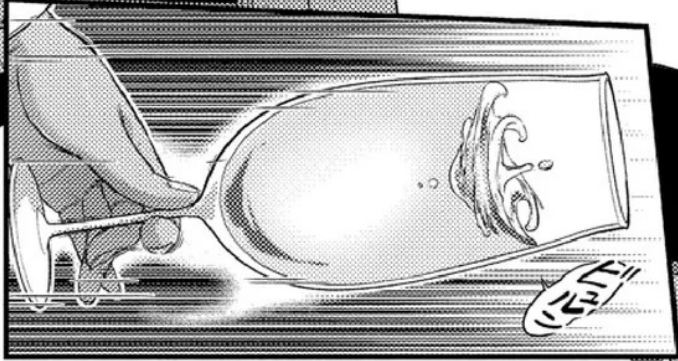
えあの  
ちよつと…

さあ  
どんどん

養生館では  
やっていけない

どんどん食べて  
元気を付けなきゃ

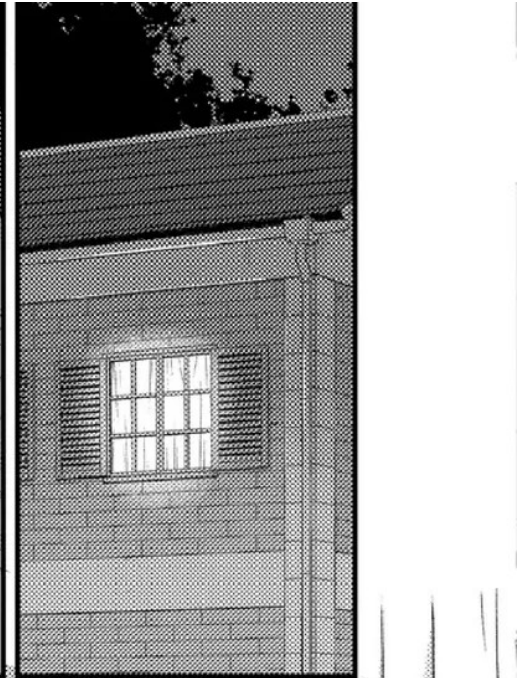
ズ  
ズ  
ズ





まさか夕食は毎回  
こんなんじゃないよな？  
流石にないよな？

すごい豪華な  
メニューだったな…  
量も多かったし…



しかしこの部屋も  
悪くないし  
色々込みで3万って  
安すぎるよな…

実は後で追加で  
お金を請求されたり  
しないよね…

それに大家さん  
母娘も二人共  
妙な感じだし…

何か危ないトコに  
来ちゃったんじゃない？



やっぱり何か  
あるんだ…



はいっ  
何でしょう!?

実は契約のことで  
ご相談が有ります…



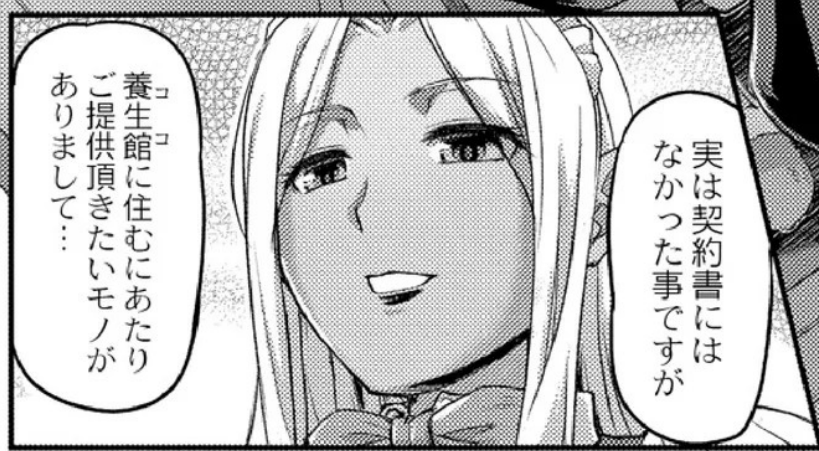
小喜です  
少しよろしいですか？



失礼します



…どうぞ



実は契約書には  
なかった事ですが

「コ」  
養生館に住むにあたり  
ご提供頂きたいモノが  
あります…



ご心配なく  
お金ではありません

頂きたいのは…

ス…

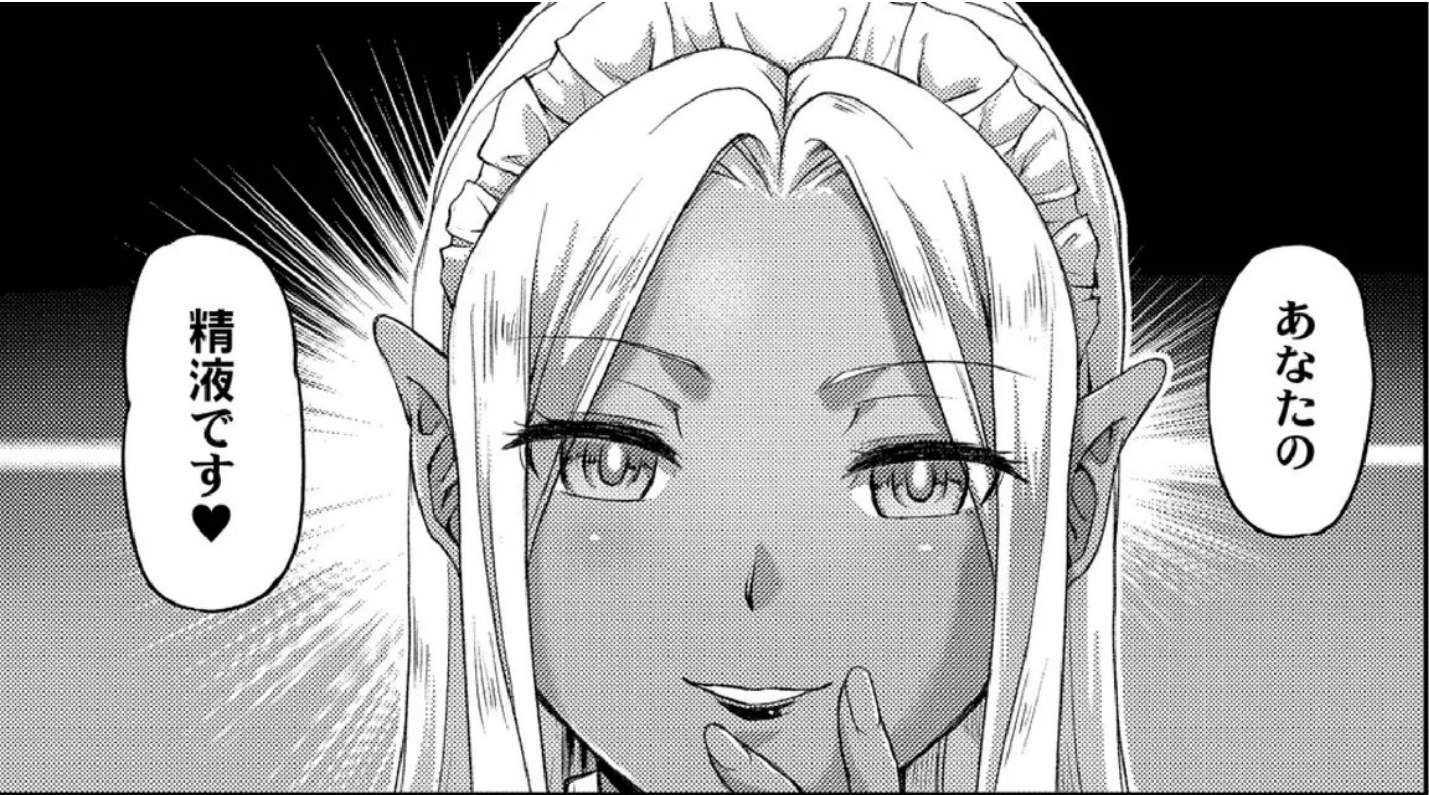


やっぱり来た！

でも  
最初に3万円って…

あなたの

精液です♥



なっ!?



お察しかも知れませんが

私達は人間ではありません



あえて誤解を恐れずに:

一番伝わりやすい言葉を選ばなら:



なんだコシ...体が痺れて...

あなた達...一体...



てしょうか♥

悪魔♥



お話の続きをさせて  
いただきますね♥

とゆ

はあ はあ

ギョ

何だか頭が  
ほんやりする…

それに胸が  
どきどきして…





正確には精液に  
含まれる生命力を  
頂きたいのです

お若い殿方なら  
どのみち每晚お捨てに  
なるものでしょう？

それなら私達に  
ご提供くださいませ

あっ!!



責任を持つて  
スツキリさせて  
いただきます♪



まあこんなに  
張りつめて…♡

少し『<sup>チャーム</sup>魅了』が強すぎた  
ようですわね



ほらライラ  
あなたも一緒に  
ご奉仕なさい♡

うん…  
ママ…  
すごくビクビク  
してるわ…



「気持ちよくして  
ほしい」という  
合図だから…

覚えておきなさい  
オチンポがこう  
なっている時は…



うん  
わかった…

何も言われ  
なくてもライラから  
ご奉仕するのよ♡



我慢できな…っ



気持ち  
よすぎる…っ  
こんなのもう…



うわっ  
ヤバイ…  
舌のヌルヌル…



ママ…  
これすごく精気が  
詰まってる…

少し舐めただけでも  
体の奥から熱くなつて  
くるみたい…♥



あらまあ  
こんなにあ

しかも質も一級…  
素晴らしいわ♪



だからこんなに  
濃いからね♥

大月さんはまだ  
童貞さんなのよ♥



こちらでお相手  
しますね♡



まだこんなに  
お元気♪

であれば  
今度は…

ガイ



んあ  
あ!!

えっ!!  
ちょ…っ!!

ズッ

ズッ

ズッ





ムー  
初めて同士だと  
難しいから…

焦らないの♪  
アナタも今回が  
初めてでしょ…？



ママばかり  
ずるい…  
私も欲しい…



まずはママが…っ  
大月さんを慣らして  
あげる…から♥

その間に他の  
場所を愛撫して  
あげて♥



ふあっ

じゃあ…  
こっちの方を



わかった…



大月さん…  
気持ちいい…？

あ…っ

ヒッヒッ

やめ…っ



良いみたいよ  
ライラ♪

オチンポに気が…  
どんどん集まって  
いるもの…っ♥



射<sup>だ</sup>精<sup>だ</sup>してください♥



さあ大月さん…っ

我慢しないで  
どうぞそのまま  
私の膣<sup>なか</sup>内に…



大月さん…

ふあっ？

びく



でも大月さんの元気…  
無くなっちゃった…

私の方…

くた  
た



ああ…私の奥が  
生命力で溢れて…  
素敵です…♡

ジュジュ

ジュジュ



ズル

ホラ、アナタもちゃんとお願いなさい

はい



は…

あ…

ライラのお相手もお願いできますか？



ありがとうございます  
ございます♪



ドキ

ドキ

大月さん…  
どうか私にも…

私の中にも熱いのを  
注いでください♥





ママ…っ  
すっ…っ♥

ヌルンって  
入ってきて…

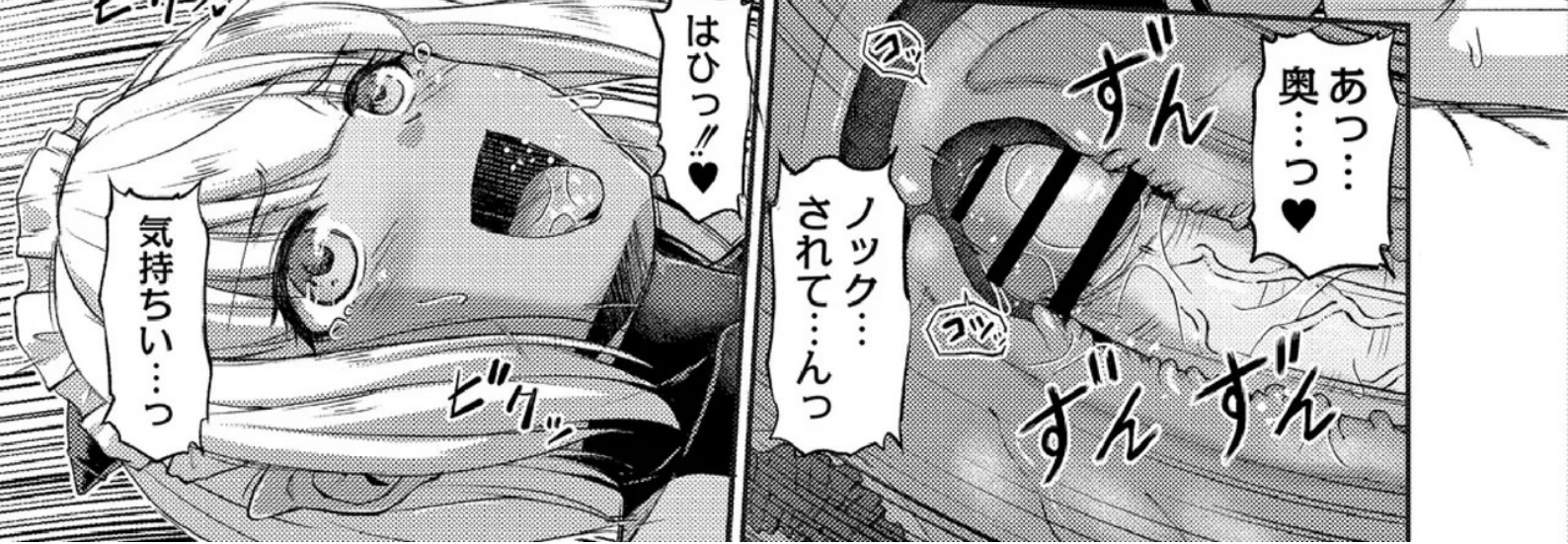
深いトロ…  
届いてるっ♥



良かったわね♪

大月さんも二度ほど  
射精されているから

長めに可愛がって  
いただけるわよ♪



あっ…  
奥…っ♥

すん  
すん

ノック…  
されて…んっ

はっっ…♥

気持ちい…っ



いぎぎ  
あん♡

良かったわね  
ライラ  
初めての相手が  
大月さんで♪

ライラも  
こんなに悦んで♪

大月さん  
ありがとう  
ございます

すんすん



腰が...っ  
止まらない...っ

ダメだ...  
気持ちよくて...

ズッ  
ズッ  
ズッ  
ズッ  
ズッ  
ユサ  
ユサ

ママ…っ  
お腹の奥が…  
熱くなっ…♡

オチンポが…  
なんだか大きく  
なっ…♡

もうすぐ奥に出して  
もらえるわよ♪

だからアナタも  
気持ちよくなって  
ばかりじゃなくて…

しっかり締めて  
お迎えなさい♪

んあっ!?





大月さん  
お疲れさまでした♡

ママ  
コレが...♡

体の中に生気が  
満ちてくるの...♡

ずるん



うわっ  
さっそく  
やってくるよ♪



ただいま

おはっ



人目が減るのを  
待ってたら  
遅くなっちゃった♪

いやっ  
満月だったのを  
すっかり忘れてて

あれ...?  
この女性って...  
不動産屋の...



丁度ムラムラ  
する時期だから  
助かるわぁ♥

えっ…動物の  
尻尾と耳!?

じゃあ私も  
参加うっと♥



危ない所に来たかも  
という僕の予感

これからよろしくね  
大月くん♥



うめえ  
えええ

どうやら  
正しかったみたいだ

# **G-WALK**

ムーグコミックス

## 妖女館の日常 第一話

著者 ● 浦瀬しおじ

© 2021 URASE SHIOJI / G-WALK

発行 ● 株式会社ジーウォーク

<http://gwalk.sakura.ne.jp/>

●本書の一部あるいは全部を無断で複製・転載・上演・放送・ネット配信等を行うことは、法律で認められた場合を除き、著作者及び出版者の権利の侵害となります。

●掲載作品はフィクションであり実在の人物、団体、事件などには一切関係ありません。また犯罪を教唆するものではありません。

●本書は大人向けの娯楽書であり、18歳未満の方の購入・閲覧・所持を禁じます。また、18歳未満の方への販売・陳列・貸与・譲渡・回覧を禁じます。